

平成25年度予算見積調書

課室名：生徒指導課
 担当名：非行・中退防止担当
 内線：6744 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B58	いじめ・非行防止学校支援推進事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	非行防止対策費		
事業期間	平成14年度～平成28年度	根拠法令	なし			戦略項目	06 時代に応え未来を拓く人材育成			
						分野施策	020102 子どもたちの豊かな心の育成と非行防止・立ち直りの支援			
1 事業概要 各教育事務所ごとに校長OB等による非行防止支援員を配置し、未然防止のためのネットワークの形成やいじめ問題解決のための支援チームを編成する。 (1) いじめ・非行防止支援員の配置 15,120千円 (2) いじめ・非行防止ネットワークの形成 146千円 (3) いじめ・非行対応支援チームによる支援 672千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア いじめ・非行防止支援員の配置 15,120千円 各教育事務所に校長OB等による支援員を配置(4教育事務所×2人)。いじめ・非行防止ネットワーク、いじめ・非行対応支援チームのコーディネート、生徒指導全般に係る指導・助言を実施。 イ いじめ・非行防止ネットワークの形成 146千円 各教育事務所ごとに、いじめ・非行防止ネットワーク構成員(教員、警察、保護司、PTA等)による連絡協議会を開催。未然防止のため、各学校への情報発信等を実施。 ウ いじめ・非行対応支援チームによる支援 672千円 困難な事案が発生した際に、支援チーム(学校、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等)による生徒、教員への支援を実施。チーム構成員の専門性を生かし、問題の早期解決を図る。 (2) 事業計画 ア いじめ・非行防止ネットワークの活性化 いじめ・非行の未然防止の方法等について、ネットワーク内で活発な意見交換を実施。学校に対して、効果的な未然防止方法等の情報発信を行う。(6月) イ いじめ・非行対応支援チームの編成、運営促進 いじめ・非行防止支援員が、個々事案に対する最適なチーム構成員を調整。チーム運営の進め方、客観的視点による事案背景分析など、随時指導・助言を行う。 (3) 事業効果 公立小中高等学校における暴力行為発生件数の減少 平成21年度：2,673人(小学校219人・中学校1,942人・高等学校512人) 平成22年度：2,113人(小学校112人・中学校1,607人・高等学校394人) 平成23年度：1,817人(小学校103人・中学校1,329人・高等学校385人)						
2 事業主体及び負担区分 (1) (国1/3・県2/3) (2) (3) (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
決定額	15,938	国庫支出金	5,016	諸収入	70				10,852	283
前年額	15,655			70					15,585	